

第3回 研修会

全体研修1 会場校 菅松小学校の取組み

・菅松小学校 小西としえ先生

菅松小学校では、担任、管理職、関係機関が連携し、より良い日本語指導を目指して日々さまざまな取り組みがなされています。ひとりひとりの発達段階や日本語の能力に合わせて、指導方法を工夫しています。また、日本語を学習している子ども達がクラスの子どもに認められるような場面が多くつくってあり、子ども達は自信をもって日本語を勉強しています。



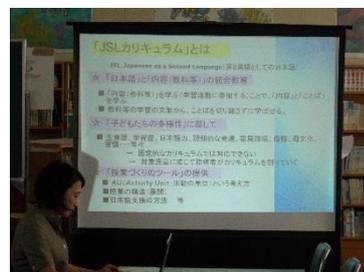
○認知能力を高めるための活動が興味深かったです。

○3年国語の「気になる記号」でインドのエコマークやハラルマークを調べて紹介させる取り組みはとてもユニークで参考になりました。

全体研修2 日本語と教科の統合について

・筑紫丘小学校 小田潤子先生 原田徳子先生

理解支援、表現支援、記憶支援を通してどのような教授法が有効か小田先生からお話いただきました。指導法や支援方法を踏まえた上で、小学校は国語『うなぎのなぞをおって』、中学校は数学「確率」の教科との統合学習の指導の流れを考え、グループで協議しました。教科としての力、日本語の力をどのようにつけていくかという意見交換ができて大変有意義なものになりました。



○一人で考えていると全くアイデアが出てこないが、みなさんで一緒に考えるといろいろなアイデアが生まれてきて、とても参考になりました。

○数学の指導案を作成した。時間の制約があるため、いかに効率的にするかが課題だと思いました。

○自分が知っている人数や車の台数から「枚数」という言葉を自分で見つけさせるという指導はまさに日本語の指導だなと思いました。

全体研修3 グループ研修（第1回）

・春吉小学校 山本光一先生 立和田理恵先生

一年間を通して研究したいテーマを決め、グループごとに研究を行います。今回は研究グループとテーマを決めました。来年度以降につなげていけるような実りある研究になるよう、これからの指導の中で積極的に実践を行っていきます。



○ICTを利用した教材・資料の整理など日本語指導教員のみなさんに有効なものをつくれるようにしていきたいです。

○自分のテーマを決め、どのような内容から進めていくことができるか考え、実践していきたいと思います。

○多岐に渡っていてなかなか決定しにくいところでしたが、みなさんの興味、関心の方向性がいろいろあることは素敵なことだと思います。